

会場案内図



日本大学工学部工学研究所

〒963-8642  
 福島県郡山市田村町徳定字中河原1番地  
 TEL.024-956-8648 FAX.024-956-8878  
<http://www.ce.nihon-u.ac.jp/ResearchCenter/index.html>  
 [E-mail]kenkyu@ao.ce.nihon-u.ac.jp

公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構  
 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

〒963-0115  
 福島県郡山市南二丁目52番地(ビッグパレットふくしま3階)  
 TEL.024-947-4400 FAX.024-947-4475  
<http://www.techno-media.net6.or.jp/> [E-mail]techno@nm.net6.or.jp

PRINTED WITH SOY INK このパンフレットは、環境にやさしい再生紙と大豆インキを使用しています。

第16回

# 産・学・官 連携フォーラム

健全で持続可能な  
 ふくしまの実現を目指して  
 ―新設された3つのフォーラムの役割と連携―

開催  
日時

平成27年 **11月25日(水)**  
 13:15~16:00

会場

日本大学工学部  
 50周年記念館(ハットNE)大講堂

- [主催] 日本大学工学部工学研究所, 公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構, 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会  
 [後援] 福島県, 郡山市, 郡山商工会議所, 公益財団法人福島県産業振興センター, 郡山地域テクノポリス市町村協議会, 郡山地域テクノポリス推進協議会, 一般社団法人福島県発明協会, アカデミアコンソーシアムふくしま, 日本貿易振興機構福島貿易情報センター, 日本大学工学部校友会, 株式会社東邦銀行



# 第16回 産・学・官 連携フォーラム

H27.11.25[水]

健全で持続可能なふくしまの実現を目指して  
—新設された3つのフォーラムの役割と連携—

## 開催にあたって

日本大学工学部では、2011年の東日本大震災以前から「ロハスの工学」(健康で持続可能な生活スタイルを実現するための工学)を研究教育方針に掲げ、(公財)郡山地域テクノポリス推進機構および郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会との連携により、ロハスな社会を実現するための要素技術の開発と地域貢献を進めてきました。その一環として、平成15年度から「医療・福祉機器等関連新事業創出研究会」、「再生可能エネルギー・環境共生推進研究会」、「機能性材料・製造プロセス研究会」を立ち上げ、産学連携の枠組みの下、ロハスの工学を推進するための精力的な活動を進めてきました。さらに、今年度からはこれらの研究会をさらに発展させると共に、相互の連携を意識し、「イノベーションテクノロジーフォーラム」、「健康医療福祉産業創生フォーラム」、「サステナブル地域づくりフォーラム」という3つのフォーラムを新たに立ち上げました。その最終的な目的は、健康で持続可能なふくしまの実現にあり、今後これらのフォーラムを通して、産・学・官が一体となり、連携推進していくことが期待されています。

以上の背景より、今年度の産・学・官連携フォーラムでは、これら3つのフォーラムの役割を明示すると共に、相互の連携のあり方について議論することを目的としております。

### 13:15-13:25 開会挨拶

公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構理事長  
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会会長 丹治 一郎  
日本大学副学長・工学部長・工学研究所長 出村 克宣

### 13:25-14:10 フォーラムの概要説明

(15分×3人)

- 1 イノベーションテクノロジーフォーラム  
柿崎 隆夫 (日本大学工学部 機械工学科 教授)
- 2 健康医療福祉産業創生フォーラム  
酒谷 薫 (日本大学工学部 電気電子工学科 教授)
- 3 サステナブル地域づくりフォーラム  
岩城 一郎 (日本大学工学部 土木工学科 教授)

### 14:10-14:25 休憩

### 14:25-15:10 各フォーラムの産・官を代表して話題提供

(15分×3人)

- 1 イノベーションテクノロジーフォーラム  
東成エレクトロビーム株式会社 会長 上野 保氏
- 2 健康医療福祉産業創生フォーラム  
株式会社資生堂 リサーチセンター シニアサイエンティスト 谷田 正弘氏
- 3 サステナブル地域づくりフォーラム  
三菱商事復興支援財団 事業推進チームリーダー 中川 剛之氏

### 15:10-15:55 パネルディスカッション

#### 「フォーラムとそのミッション」

座長 柿崎 隆夫 (日本大学工学部 機械工学科 教授)  
パネリスト (上記話題提供者5名)

### 15:55-16:00 閉会挨拶

柿崎 隆夫 (日本大学工学部 工学研究所次長)